

## 明るい未来にするために

岡山市立岡北中学校 一年

平田 倫 大

みなさんは、今まで友達や他の人から嫌なことをされたことはありませんか。また友達がいじめられているところを見たことはありませんか。

社会では、今さまざまな問題が起こっています。自殺や誹謗中傷、僕たちの身の周りで言うといじめなどです。二〇二一年の自殺者数は二一〇〇七人と、とても多くの人が自分で命を落としているのです。また最近では、新型コロナウイルスに感染した人に対するいじめや、差別が起こっています。いじめや差別をしている人は軽い気持ちでやっているかもしれませんが、いじめや差別を受けている人はとても悲しい思いをしていると思います。

ここからは、僕が実際に見たもの、聞いたものについてです。中学校の道徳の時間で、いじめのことについて勉強したときのことです。その授業では、実際にいじめている人だけではなく、見て見ぬふりをしている人もいじめているということを知りました。そして僕が授業の中で印象に残っているのは、授業中に先生が言った言葉です。

「いじめは、受けている人が少しでも嫌だと感じたら、それはいじめです。たとえ自分はいじっているつもりでも、いじめに含まれます。」この言葉をきいて僕は、今まで暴力や相手を馬鹿にするようなことをするといじめになると思っていました。ただ相手が少しでも嫌がったら、それはいじめになるので、人と接するときは今まで以上に、相手の気持ちを考えることが大切だと思いました。

また、ユーチューバーの中でも誹謗中傷を受け、グループを脱退したということを知りました。ネット上に悪口をかき、その人の心を傷つけた人がいるということをきいたときは信じられないという気持ちでした。悪口は簡単に人の心を傷つけてしまう恐ろしいものです。僕は平和で安全な社会になってほしいと思っています。そのためにも、いじめや差別、誹謗中傷や自殺などをこの世からなくす必要があると思います。平和で安全な社会をつくるために僕たちができることはあるのでしょうか。

一番やりやすいのはあいさつです。最初は家族や近所の人のような身近な人からあいさつをして、慣れてきたら登下校時にすれ違う